

ほけんだより

平成 30年 12月 4日
港区立御田小学校
校長 濱尾敏恵
主任養護教諭 島崎智子

12月の保健目標…冬を元気に過ごそう



朝晩の寒さが冬の訪れを感じさせる毎日です。

例年に比べると穏やかな日が続いているためか、御田小学校では、11月はインフルエンザの罹患の報告はありませんでした。しかし、東京都の感染症情報では、伝染性紅斑、風疹、百日咳の流行が見られ、注意が必要とされています。これらの病気は学校感染症で、出席停止となったり、医師からの登校許可が必要となったりします。病院で『学校感染症の疑いがある』と言われたら、すぐに学校に連絡してください。

御田小学校でも伝染性紅斑、百日咳の罹患が数名ありました。流行を防ぐための対応に、ご理解・ご協力をお願いします。

◇百日咳の対応について◇



百日咳は特有な咳発作が特徴で長期にわたり咳が続きます。生後3か月未満の乳児では、呼吸ができなくなる発作や脳症などの合併症も起こりやすく、命にかかわることもあります。乳児期が多いですが、成人でも発症します。

百日咳の診断は、臨床症状による場合と検査による場合の2つがあります。検査結果が出るまでは数日かかり、その期間の感染拡大を防ぐため、『百日咳の疑い』で、薬を飲んだ日から飲み終わるまでの5日間は登校できません。ご協力をお願いします。

- ・ 感染経路 … 飛沫感染、接触感染
- ・ 症状 … 咳などの軽い症状から始まり、1～2週間過ぎた頃から咳が激しくなり、連続して咳がでる。
- ・ 出席停止期間… 特有の咳が消失するまで又は5日間の適切な抗菌薬療法が終了するまで。

※咳が出ているときは、必ずマスクを着用してください。

第二種学校感染症

児童生徒の罹患が多く学校において流行を広げる可能性が高い感染症



病名	出席停止期間
インフルエンザ	発症した後 5 日を経過し、かつ、解熱後 2 日（幼児は 3 日）を経過するまで
百日咳	特有の咳が消失するまで又は 5 日間の適正な抗菌薬療法が終了するまで
麻疹	解熱した後 3 日を経過するまで ただし、病状により感染力が強いと認められた場合は、さらに長期に及ぶ場合もある
流行性耳下腺炎	耳下腺、顎下腺又は耳下腺の腫脹が発症した後 5 日を経過し、全身症状が良好になるまで
風疹	発疹が消失するまで
水痘	全ての発疹がかさぶたになるまで
咽頭結膜熱	発熱、咽頭炎、結膜炎などの主要症状が消退した後 2 日を経過するまで
結核	病状により学校医その他の医師において感染の恐れがないと認められるまで
髄膜炎菌性髄膜炎	病状により学校医その他の医師においた感染の恐れがないと認められるまで

第三種学校感染症

学校活動を通じ、学校において流行を広げる可能性がある感染症

病名	出席停止期間
コレラ・細菌性赤痢 腸管出血性大腸菌感染症 腸チフス・パラチフス・流行性 角結膜炎・急性出血性結膜炎	病状により学校医その他の医師においた感染の恐れがないと認められるまで

第三種学校感染症（その他の感染症）

学校や地域によって対象となる病気が異なる場合もある

病名	出席停止期間
感染性胃腸炎・溶連菌感染症 伝染性紅斑・帯状疱疹・手足口病・マイコプラズマ肺炎・アタマジラミ等	病状により学校医その他の医師においた感染の恐れがないと認められるまで